|  |  |
| --- | --- |
| 現代文2018年度第五回「山椒魚の外観について→全体を通して多様な解釈を認める、自分の意見を持つ」 | 作成者：廣谷実施日：2018.10.25　　　　　　(木曜日) |

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 【単元の目的】生徒が、①小説に対して様々な解釈を認め、②自分なりの読む楽しさに納得感を持つ　　ようになる。【今回の授業のねらい】＊単元の目的達成のために、今回はどんな学びを生み出したいのか？　　　　　　　　　　　＊各回のステップ( ⅰ)~ⅵ)で表していたもの)をもとに入れてください！・2～3回まででは山椒魚の内容（山椒魚の気持ちになって本文を解釈する）に関して、目的①②を達成するワークをした。4回では、山椒魚の外観について、同様に目的①②を達成できるようなワークを行う。cf.ステップⅱ～ⅴ対象者（生徒・クラスの現状予想。テーマへの関心など。）＊以下は、単元の目的や今回の授業で取り組むことの視点を踏まえて書きましょう！生徒の現状　・本文を読んで、内容を読み取る力はもともとついている。(先生より)クラスの雰囲気・普段、先生からの問いかけ、呼びかけへの反応は良い。テーマへの関心なし | 【今回の目標】　＊今回の授業のねらいを達成するには、生徒が何を完了すれば良いのか？・討論のワークを通して①自分の意見を持つ②他人の意見を認める評価の観点と方法（目標と対応するように）　＊完了度合いを何で測るのか？何をもって完了と見なすか？・討論のワークをルールにのっとって①全員が発言すること②他人の意見を傾聴する姿勢を持って聴くこと・ワークシートにはじめの自分の意見、討論をふまえた上での意見を自分なりの根拠とともに書き込んでいる準備物などワークシート：https://docs.google.com/document/d/174ls4SzSkmeVXueIxAf0lY\_WsGBr4Pi5Q3aybpmxwEA/edit（討論の注意、自分の意見シート）pptその他 |

**タイムライン（計40/ 45分）**。＊曜日によって持てる時間が変わるので注意！　(月金土:45分　木:40分)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成 | 時間（分） | 活動内容 | 各活動のねらい | 予想される生徒の様子 | 大学生の対応 | 備考 |
| 導入・ワーク準備 | 5分 | ねらい共有前回の振り返り…テーマの共有（抜粋）みんなのテーマから大学生が選んだ今回は自分の意見をもって、討論すること | 目的を達成するための討論の準備段階 | 与えられたお題について自分なりに解釈をする自分なりの解釈を出すのに時間が足りなくなってしまう子も | 時間が足りなそうな子には、話しかけて何を考えているか話を聞く。文章化できていないだけ→文章にするのを手伝う、具体的に思い浮かんでいない→ |  |
| ワーク①(15分) | 3分 | テーマ：山椒魚の弁護をしているような書かれ方がされているのはなぜか①井伏鱒二が山椒魚を弁護するように書いた理由は？自分の意見を持つ。 | 議論の準備 | ワークシート①に書き込み | 書けないで困っている子がいれば気に掛ける | 時間が短かったら、適切に延ばす |
|  | 9分 | ※討論の注意を伝える…目的とともに②討論…小テーマを設定して大学生が投げる※お互いの意見の相違を自覚し合うこと＋その相違を認め合うこと＋それをふまえて融合した意見や、改めた意見生成 | 深く討論ができるような大学生が用意したお題について、自分の意見を述べる、他人の意見を聴く、お互いに意見し合うことを通して目的を達成する各々が自分の解釈を相手に伝えることで、他人の解釈、意見を知る補助発問を通して、多様な意見を受け止める | ワークシート②に書き込み相手の話を聞く聞き流してしまう子も討論で盛り上がるただし、ついていけない子がいる | 集中できる空気感をつくる。→むやみに話しかけない、なるべく威圧的にならないよう生徒と同じぐらいの目線で座る適切な補助発問をあまりについていけない子がいたら、話を振るが、基本的に生徒が自主的に話すのに任せたい。（生徒に、優等生的な意見でなく、自分なりの素直な意見を言って欲しい。大学生がいると、優等生的な意見を言いたくなりそう） | 各班に入る時間を見ておく…ここで時間を見てる人ほしい |
|  | 3分 | ③もう一度テーマについて自分の意見を言う | 他人の意見を知った、多様な意見があることを知った上で、自分の意見をはじめ（①）よりもしっかりと持つ | 討論をふまえて意見を述べるただし、ふまえられていない、ただ感想を言って終わる子がいる | 単に感想だけを言わないように注意 |  |
| ワーク② | ①と同様 | テーマなぜ山椒魚が主人公であるか |  |  |  | 時間のある限り同じワーク |
| まとめ | 　5分 | 今回は山椒魚の外観について。内容、外観の両方の側面から自分の意見を持てたかな目的を再確認次回からは「待つ」を扱うこと（軽く）振り返りを書く | 次回への準備 | 山椒魚の文章は終わりだと知るまとめで自分たちの読み方をしたことを理解 |  | 狙いの再確認が一番大事 |

想定される問い

(構成的な)

・なぜ主人公が山椒魚なのか

・なぜ山椒魚の思考や行動を、人と結びつけるのか(p.116「人々は思いぞ屈した場合～」、p.122「誰しも自分自身を～」とか)

・山椒魚が滑稽だというような書きぶりがよく見られるのはなぜか

・なぜ白い花弁が出てきたのか(p.119 L5)

・なぜ途中で読者に語りかけるのか(p.121「諸君は、発狂した～」、p122「どうか諸君に再びお願いが～」とか)

・なぜ一回蛙を登場させたのか(p.121 L15)

・蛙を閉じ込めた1年後(頭がつっかえていることがバレる年)をどうして挟んだのか

・井伏はこの物語で、誰に・何を伝えたかったのか / 何を描きたかったのか

・なぜ山椒魚と蛙が死ぬところまで書かなかったのか

・なぜ井伏は常に山椒魚の味方っぽい書き方をしているのか

(表現的な)

・なぜこの始め方?(p.116「山椒魚は悲しんだ。」)

・「ブリキの切りくず」という言葉のチョイス(p.122 L4)

・～合点のゆかないことが生じたではなかったか「！」(p.122 L12)

・冬眠を「鉱物から生物」と表したのは(p.124 L12、p.125 L4)

・なぜこの終わらせ方？(p.126「今でもべつにお前のことを怒ってはいないんだ。」)